

(様式1)

※原本は「入札書」と合わせて提出すること。

技術資料提出書(入札参加資格確認用)

令和 年 月 日

一般財団法人 東濱口家住宅保護財団

代表理事 濱口 吉右衛門 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

当該工事に係る条件付き一般競争入札(事後審査・郵送方式)の入札参加資格要件を証明するため、下記の通り提出します。

なお、地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること並びに下記の内容については真実と相違ないことを誓約します。

記

業務年度・番号 : 令和 7 年度 第 4 号

業務名 : 濱口家住宅(主屋・本座敷・御風楼)保存修理工事

要件
1

文化庁が認定する選定保存技術保存団体『一般社団法人 日本伝統建築技術保存会』への会員登録の有無

☐ 有 ☐ 無 (理由:)

(添付書類: 上記を確認できる書面等の写し)

要件
2

国又は府県指定の文化財建造物の保存修理工事の施工実績(和歌山県内もしくは近隣府県)

施工年度	府県名	文化財区分	建物の名称	建物の形式
------	-----	-------	-------	-------

(記入例)

平成〇〇年度	和歌山県	重要文化財	〇〇家住宅主屋、〇〇書院など	木造、〇階建
--------	------	-------	----------------	--------

註)施工実績は、平成18年度以降に実施された当該地域の指定文化財(木造建造物)での半解体以上の保存修理工事において、自社が主担当となって木工事の施工を完了させたものを記載する。

(添付書類: 上記を確認できる書面等の写し)

その他添付資料 : 同種工事の実績調書(別紙、様式2)
: 配置予定技術者調書(別紙、様式3)

「技術資料提出書」作成時の留意事項

- 1 「技術資料提出書」の作成日は、現地確認の希望等で技術資料を公告期間中にファクシミリにて提示しようとする場合はその提示する年月日を記入し、それ以外の場合には「入札書」に記載する年月日を記入すること。
いずれの場合も、入札時には本紙及び「その他添付資料」(様式1～様式3)の原本を「入札書」と合わせて提出するものとする。
- 2 要件1では、有・無の文字脇の四角内へレ点を付す形で明示すること。
実績を有する者については、その内容を証明する書類(該当する委託契約書の写し等)を添えて提出すること。
実績を有さない者については、「技術資料提出書」の作成を行う理由を簡潔に記した上で、「その他添付資料」の作成とともに、自社または本人が実績保有者と同等の能力を有することが客観的に確認できる書面を添えて提出すること。
- 3 要件2では、自社または本人の業務実績が和歌山県内の場合は、その実績を証明する書類(委託契約書等の写し)を添えて提出すること。施工実績が和歌山県外の場合には、(様式2)「同種業務の実績調書」を作成した上で、その実績を証明する書類(委託契約書等の写し)を添えて提出すること。
- 4 本紙の作成に伴い、要件2で(様式2)「同種業務の実績調書」の提出が必要となる者については(様式3)「配置予定技術者調書」とともに「入札書」と合わせて提出し、それ以外の者については(様式3)のみを「入札書」と合わせて提出すること。
- 5 「技術資料提出書」は、落札者の決定時に、「その他添付資料」と合わせて審査を行う。

(備考) 技術資料を公告期間中にファクシミリにて提示する場合の受付先は、(公財)和歌山県文化財センター(ファクシミリ番号 073-474-2270)とする(「設計図書等配付希望書」受付と共通)。